

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-131	小学校	算数科	算数	6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・601	新しい算数 6 数学へジャンプ!		

1. 編修の基本方針

豊かな学びが未来を拓く

私たちは、子どもたちに、予測困難な未来の社会に主体的に関わり、自立した人間として幸福な人生とよりよい社会を実現してもらいたいと願っています。

そして、算数科に対しては、数学的な視点から物事をとらえ、統合的・発展的に考えることに加えて、創造性を追求したり、自他の価値を尊重し真理を求め続けたりする態度などを培うことが期待されていると考えます。

本教科書は、教育基本法の理念を踏まえ、算数科における主体的・対話的で深い学びを具現化し、未来を拓くために必要な資質・能力の育成をめざして編集しました。

特色

1

考えることが、
ますます
楽しくなる

数学的な見方・考え方を働かせ、
学びをつなぎ、深める。
そして、考えることを楽しむ。
このような学習過程の実現をめ
ざしました。

特色

2

学んだことを、
いろいろ
生かすことができる

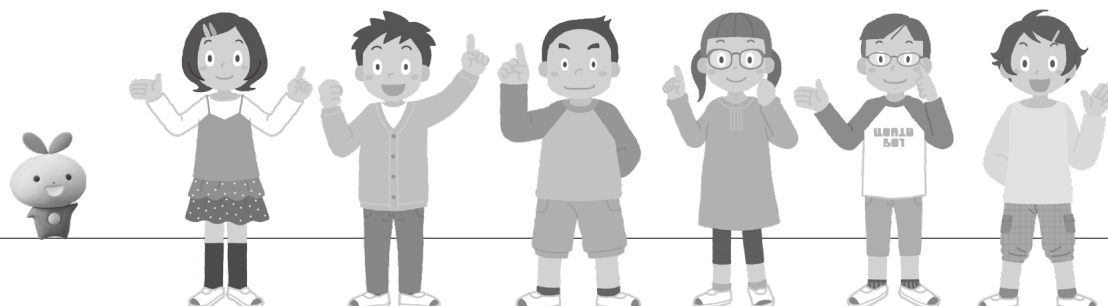
学んだことを、算数の学習や身
近な問題の解決に生かし、生き
て働く知識や技能に熟達する。
学びを生かす力の育成をめざし
ました。

特色

3

これからも、
どんどん
学び続けたいくなる

学びをふり返り、学びの価値や
自身の成長を実感し、新たな課
題をつくり出す。
粘り強く学ぶ心、学び続ける心
を強くすることをめざしました。



特色

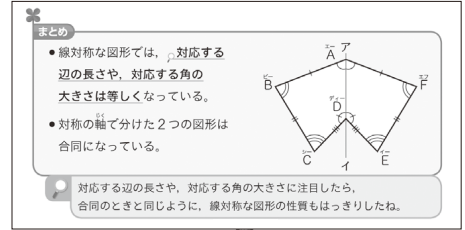


考えることが、ますます楽しくなる

1 授業の「まとめ(✿)」で、数学的な見方・考え方(🔍)も価値づけます

各時の授業の出口であるまとめでは、用語の意味や計算方法など知識や技能だけではなく、問題解決の過程で働かせた数学的な見方・考え方を、🔍を付して価値づけました。数学的な見方・考え方を意識することで、深い学びやより確実な理解につながり、考えることがますます楽しくなります。

なお、問題解決の過程においては、まとめで価値づける数学的な見方・考え方の伏線となる補助発問(❶)や吹き出しにも🔍を付しています。



(p.11)

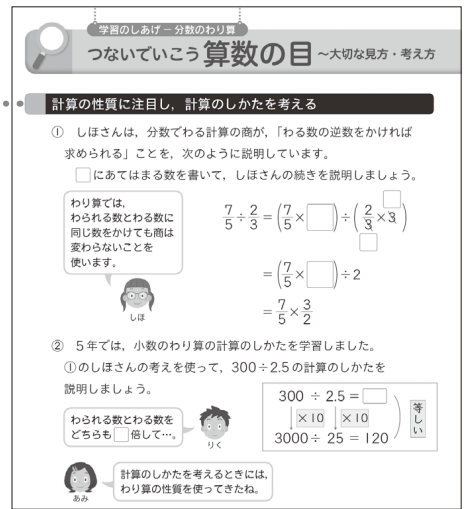
2 単元末でも、数学的な見方・考え方を価値づけます

単元末では、特に成長させたい数学的な見方・考え方に焦点を当ててふり返るページ「つないでいこう算数の目」を新設しました。

学習の出口を、答えを求められるかの確認にとどめることなく、数学的な見方・考え方の成長を支えます。

また、ご指導経験の浅い先生も、本ページを参照することで、本単元で成長させたい数学的な見方・考え方をつかみやすく、教材研究の効果・効率の向上を支援します。

各問題のタイトルでは、何に注目し、何を考えるのかを明示しています。



(p.69)

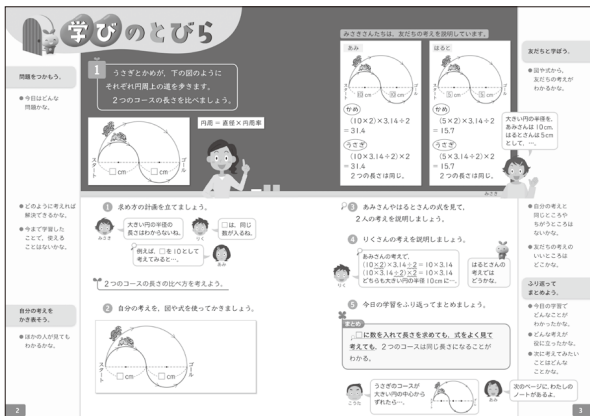
特色

2 学んだことを、いろいろ生かすことができる

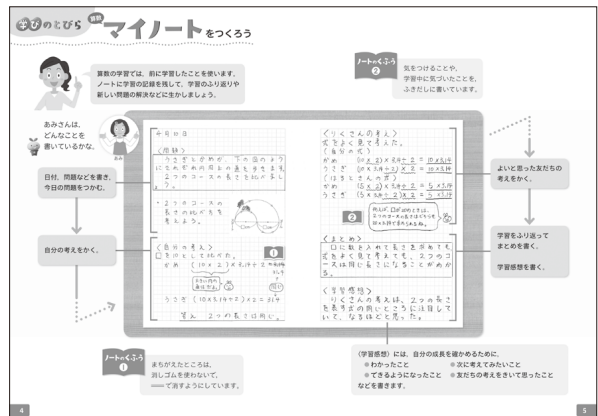
1 巻頭ページ「学びのとびら」で、「学び方」をふり返ります

問題解決の過程における大切な視点やノートづくりについて、前学年の学習を題材とした実際の授業を通してふり返ることができるようにしました。

このことにより、第5学年までに培った学び方を、第6学年での学び方につなぎ、生かすことができます。



(p.2~3)



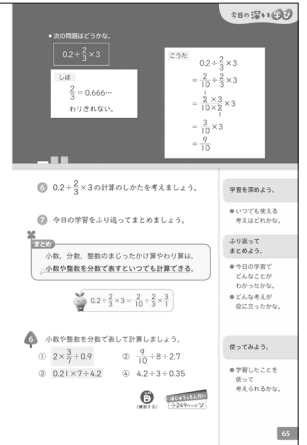
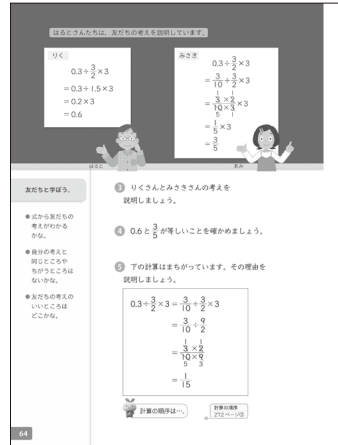
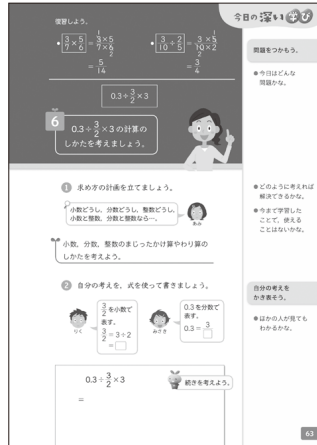
(p.4~5)

2 毎日の授業で、既習を生かして新たな問題を解決する力を育てます

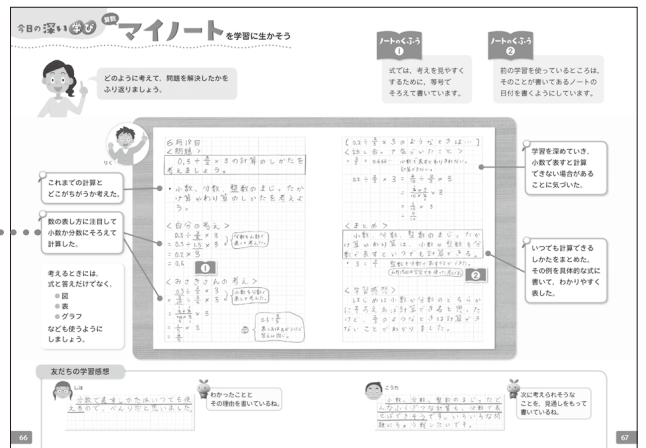
本教科書では、“どんなことに注目し、何をどのように生かして問題を解決すればいいの”を考え実践する経験を重視しています。そこで、例えば、数学的活動をいっそう分かりやすく可視化したページ「今日の深い学び」では、側注で既習の想起を促したり、ノートを使って既習を生かした学びをふり返ったりすることを例示しました。なお、「今日の深い学び」は、学年を通して3回設定し、教材や指導のねらいに即してそれぞれ数学的活動を可視化しています(63～67, 111～115, 147～151)。

既習を生かして新たな問題を解決する経験を積み重ねることにより、生きて働く知識や技能の熟達がなされ、さらに学びを生かそうとする態度や学びを生かす力を育成することができます。

ノートの活用例として、問題解決の過程で働かせた数学的な見方・考え方を、ノートを見ながらふり返ることを示唆しています。



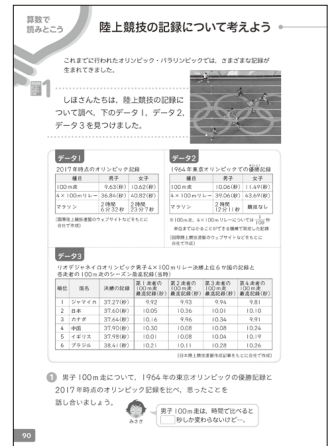
(p.63～65)



(p.66～67)

3 算数の学習を生かして、情報を活用する力や読解力を伸ばします

今日的な課題をテーマとして、数学的な視点から統計資料等を読解し、判断する力の伸長をはかるためのページ「算数で読みとこう」を新設しました。(90～91, 196～197)



(p.90)

特色

3 これからも、どんどん学び続けたいくなる

1 次の学びを創出し学び続けようとする姿を例示しています

各時の終わりには、「学習のふり返し」として、次の学びをつくり出す児童の姿を例示しました。「学習のふり返し」を用いて、学びをつくり出そうとする態度や学びをつくり出す力を育成することができます。

| 単位時間の学習の区切りのめやすとしてもご利用いただけます。



(p.105)

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	学びのとびら	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え表現することを積極的に促し、自主および自立の精神を育てるとともに、創造性を培えるようにしました。また、発達段階に配慮しながら、他者の考えを数学的に解釈したり互いに考えを検討したりする学習活動を促し、個人の価値を尊重したり道徳心を培ったりできるようにしました(各単元も同様)。(第1号、第2号) 	・2～3
		<ul style="list-style-type: none"> ・授業の際の規律として、自主的自立的に学ぶ段階、他者との協働で学ぶ段階、および各段階での着眼点等を例示し、授業における学び方を理解できるようにすることで、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるようにしました。(第3号) 	・2～3
各単元	単元プロローグ	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の日常生活を中心に多方面から素材を収集し、学びに向かう意欲を高め幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。(第1号) 	・8, 76, 92, 164, 176 など各単元の導入
	各時の問題や学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の場面や問題の素材を、児童の日常生活を中心に他教科など多方面から収集し、学びに向かう意欲を高め幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。(第1号) ・動植物や環境、安全に関する場面を設け、環境や生命を意識できるようにし、自他の生命を尊重する心が育つようにしました。(第4号) ・男女の区別なくそれぞれの考えの妥当性を考察する場面や、他者と協働して行う活動などを数多く取り上げ、常に公平、公正な立場で他者と接する態度が身に付くようにしました。(第3号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・77～78, 116, 128～132, 165～172, 176～188 など ・8, 89, 216, 221
	囲み記事ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の計算方法や数字の読み方、和算を紹介し、児童が学習で得た知識に関連づけながら、国を問わない普遍的な算数・数学のよさや日本古来の伝統に気づけるようにしました。(第5号) ・郷土や国際社会に関心をもてるように、国内外の話題やデータを学習素材として用いるようにしました。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・232～237 ・90～91, 128～132, 152 など
巻末教材	ほじゅうのもんだい おもしろもんだい ふりかえりコーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・個の学習意欲やつまずきなど、必要に応じて自主的に取り組む際に活用する教材として設定し、個人の価値を尊重しながら能力を伸ばせるようにしました。(第2号) 	・241～275

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1 すべての児童が使いやすい紙面への配慮

①特別支援教育への配慮

- ・すべての文章において、**文節改行(文節の切れ目で改行)**を徹底し、文章を読み取りやすくしました。
- ・問題やまとめを**枠で囲む**、**重要用語にアンダーラインをひく**などして、一目でとらえやすくなるようにしました。
- ・**ページ番号を表す数字を**、一目で他と**区別できるデザイン**にしました。

②人権上の配慮

- ・ガイドキャラクターの性別を明確にしない、男子は青色の服、女子は赤色の服またはスカートなど、固定的なイメージで性の区別をしないように配慮しました。
- ・活動場面では、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないよう配慮しました。

③ユニバーサルデザインへの取り組み

- ・字体は、**独自に新開発したUD教科書体**を採用しました。このUD教科書体は、**従来の教科書体に比べてさらに太く、視認性をいっそう向上させた**ものです。
- ・すべてのイラスト、写真、図などを、**カラーバリアフリー**に取り組むボランティア団体の協力を得て**全ページに渡って点検**し、すべての児童に見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。

④造本上の工夫

- ・**専用の軽量で丈夫な用紙**の採用により、**重量による身体的負担の軽減**に配慮しました。
- ・学習指導要領における発達段階の区切りをもとに、**中学校との円滑な接続**を見据え、**第6学年のみ合冊構成**としました。

2 今日の課題への取り組み

⑤ご指導経験の浅い先生方への配慮(教材研究、教材準備などの支援)

- ・指導計画案、教材の解説、各時で働かせる数学的な見方・考え方の解説、展開案、評価規準、板書例、評価問題などで構成した教師用指導書を発行し、**教材研究の効果、効率を向上させ、PDCAサイクルの遂行を支援**します。
- ・指導者用デジタル教科書(教材)を発行し、**教材研究、教材準備の効果、効率の向上を支援**します。
- ・授業の**課題やまとめを原則として全時間に設定**し、本時の課題や到達点をとらえやすくしました。

⑥複式学級指導への取り組み

- ・関連する内容の単元をできるだけ同時期に配置して、**複式の年間指導計画を立てやすい**ように配慮しました(例：5年「小数の乗除」と6年「分数の乗除」、5年「割合を表すグラフ」と6年「データの調べ方」など)。
- ・巻末に「ふりかえりコーナー」を設け、**前学年までの内容を児童が自力でふり返ることができる**ようにしました。複式指導の「わり」などの際に有効に活用することができます(272～275)。


⑦道徳教育との関連への取り組み

- ・「学びのとびら」や「今日の深い学び」の授業のページでは、**他者の考えを検討する場面を示して、公平、公正に数学的な視点から検討**することをいっそう可視化しました。また、「算数マイノートをつくろう」「算数マイノートを学習に生かそう」では**他者の考えの長所を認め自分の考えを修正したりするなど、充実した集団での学びの姿を例示し、道徳教育に関連した指導ができる**ようにしました(2～5, 63～67, 111～115, 147～151)。

⑧教科横断的な課題(キャリア教育/読解力育成/情報活用力育成など)への取り組み


- ・**オリンピック・パラリンピック**や**情報化社会**に関連する素材について、**統計資料等を算数の学習を生かして読解し、判断することを扱うページ「算数で読みとこう」**を新設し、**読解力や情報を活用する力を伸長させる**ことができるようにしました(90～91, 196～197)。
- ・**キャリア教育との関連から、集団の中での役割を自覚できる活動や、職業に就く自分の姿を想像しながら解決する問題**を設定しました(164～165, 193, 196～197など)。

⑨カリキュラム・マネジメントへの取り組み

- ・単元末「たしかめよう」側注の区切り線にを付し、15分間使用の場合の区切りの目安を示しました。これにより、単元末「たしかめよう」を15分×2コマ、「つないでいこう 算数の目」を15分×1コマ(計1単位時間45分)に3分割して短時間学習で使用するなど、**弾力的な時間割編成に対応**できるようにしました。

3 その他の取り組み

⑩教育のICT化への取り組み

- ・**問題解決における思考活動、統計学習の充実、計算の熟達、プログラミングの体験ツールなど、学力向上をねらいとした無料***の**デジタルコンテンツ**を豊富に用意しました。コンテンツが用意されている箇所には (ディーマーク)を配しています。そして、表紙裏ではマークの意味とコンテンツへのアクセス方法を説明するとともに、**二次元コード、URL**を掲載しました。いろいろな端末で、簡単に使用することができます。

※デジタルコンテンツを使用する際の通信費は自己負担となります。

- ・**使用する際の留意事項(使用の際には、まず先生や保護者に相談すること)を明示**しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-131	小学校	算数科	算数	6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・601	新しい算数 6 数学へジャンプ!		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1 | 考えることが、ますます楽しくなる

新学習指導要領では、「数学的な見方・考え方」を働かせることが学習の前提となっています。この「数学的な見方・考え方」は、単に一般的な言葉で分類・整理すれば働かせることができるものではありません。確かな教材研究に基づいた授業の文脈に即しながら明示し、価値づけることが大切であると考えます。

1 「数学的な見方・考え方」の明示を重視しています

① 各時のまとめ(🍀)～授業のゴール(まとめ)が変わります

知識や技能を獲得する過程で働かせた数学的な見方・考え方を、🍀を付して明示し、価値づけます。知識を統合したり、考えの共通性に気づいたりすることができ、考えることを楽しめるようになります。

② 問題解決の過程

各時のまとめで数学的な見方・考え方を明示し、価値づけるために、伏線となる児童の吹き出しや補助発問にも🍀を付して強調しました。

③ 単元末～単元のゴールが変わります

単元の出口で、あらためて各単元で働かせた数学的な見方・考え方に焦点を当てて振り返るためのページ「つないでいこう 算数の目」を新設しました。各問題のタイトルでは、何に注目し、何を考えるのかを明示しています。

また、ここでは、これまでの学びと本単元の学びを統合的にとらえたり、数学的な見方・考え方の成長を実感したりすることができます。

④ 学年末～算数の学習のゴールが変わります

算数の総しあげを行う単元「算数の学習をしあげよう」を新設しました。知識・技能だけではなく、6年間で成長した数学的な見方・考え方を学習内容と関連づけて取り上げ、その成長を実感できるようにしました。中学校の学習に向けた整理と準備を行うことができます。

(198～227)

4 $\frac{1}{3}$ mの重さが12gの細い針金と、 $\frac{2}{3}$ mの重さが12gの太い針金があります。1mの重さは、それぞれ何gですか。

① 式を書いて、答えも求めましょう。

細い針金 $0 \quad \frac{1}{3} \quad 12 \text{ (g)}$ $\frac{1}{3} \quad 1 \quad \text{式}$ \rightarrow 答え \square g

太い針金 $0 \quad \frac{2}{3} \quad 12 \text{ (g)}$ $\frac{2}{3} \quad 1 \quad \text{式}$ \rightarrow 答え \square g

② 商がわられる数の12より大きくなるのはどちらですか。
 「わる数の大きさと商の大きさの関係を探よう。」

③ わる数が1より小さいのはどちらですか。

まとめ
 分数でわるわり算でも、1より小さい数でわると、「商 > わられる数」となる。
 小数でわるわり算と同じだね。 $240 \div 0.8 > 240$

(p.61)

学習のしあげ～分数のかけ算
 つないでいこう 算数の目 ～大切な見方・考え方

計算の性質に注目し、計算のしかたを考える

① はるとさんは、分数に分数をかける計算の順が、「分母どうし、分子どうしをかければ求められる」ことを、次のように説明しています。
 にあてはまる数を書いて、はるとさんの考えを説明しましょう。

かけ算では、かける数を「倍する」と、積も「倍になること」を使います。まず、かける数を7倍して…

$\frac{6}{5} \times \frac{2}{7} = \frac{6}{5} \times (\frac{2}{7} \times 7) = \square$

$= \frac{6}{5} \times 2 = \square$

$= \frac{6 \times 2}{5 \times 7}$

② 5年では、小数のかけ算の計算のしかたを学習しました。
 ①のはるとさんの考えを使って、 80×2.3 の計算のしかたを説明しましょう。

まず、かける数を「倍して…」

$80 \times 2.3 = \square$

$80 \times 23 = 1840$

計算のしかたを考えると、はるとさんの考えを使ってきたね。かけ算の性質を使ってきたね。

(p.52)

ふりかえろう 「図形」の目

図形の学習では、例えば、辺の長さや角の大きさ、辺の並び方などに注目し、図形の性質や面積の求め方を考えてきました。学習の広がりや深まりをふりかえってみましょう。

辺や角に注目し、図形の性質や関係を考える

2年 → 3年 → 4年 → 5年 → 6年

各図形の学習内容と対応する図の性質や関係性を整理しました。

2年: 正方形、長方形、平行四辺形、三角形、台形、二等辺三角形、等腰三角形、直角三角形、鋭角三角形、鈍角三角形、正三角形、等腰直角三角形、直角二等辺三角形、等腰直角三角形、鋭角二等辺三角形、鈍角二等辺三角形、直角二等辺三角形、鋭角二等辺三角形、鈍角二等辺三角形

3年: 正方形、長方形、平行四辺形、三角形、台形、二等辺三角形、等腰三角形、直角三角形、鋭角三角形、鈍角三角形、正三角形、等腰直角三角形、直角二等辺三角形、等腰直角三角形、鋭角二等辺三角形、鈍角二等辺三角形

4年: 正方形、長方形、平行四辺形、三角形、台形、二等辺三角形、等腰三角形、直角三角形、鋭角三角形、鈍角三角形、正三角形、等腰直角三角形、直角二等辺三角形、等腰直角三角形、鋭角二等辺三角形、鈍角二等辺三角形

5年: 正方形、長方形、平行四辺形、三角形、台形、二等辺三角形、等腰三角形、直角三角形、鋭角三角形、鈍角三角形、正三角形、等腰直角三角形、直角二等辺三角形、等腰直角三角形、鋭角二等辺三角形、鈍角二等辺三角形

6年: 正方形、長方形、平行四辺形、三角形、台形、二等辺三角形、等腰三角形、直角三角形、鋭角三角形、鈍角三角形、正三角形、等腰直角三角形、直角二等辺三角形、等腰直角三角形、鋭角二等辺三角形、鈍角二等辺三角形

対応する図の性質や関係の大きさに注目した。

AB: EF = 1:2
BC: FG = 1:2

立休は、辺の長さや面の形などに注目して、性質を考えたとね。

(p.211)

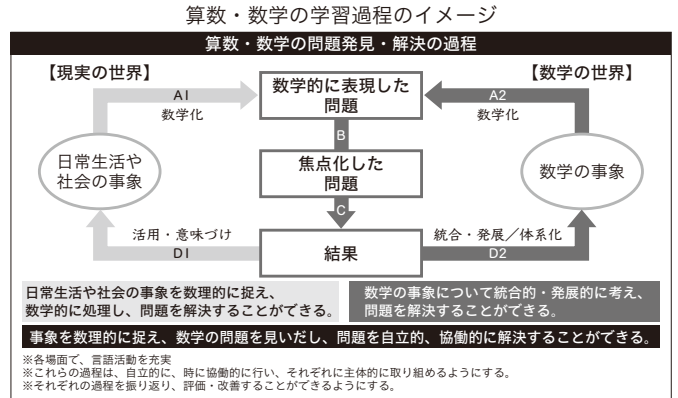
2 学んだことを、いろいろ生かすことができる

児童の学びは、学習内容の理解や熟達、学び方、問題を解決する際の着想や態度、学習規律など多岐に渡ります。新学習指導要領の教科目標の冒頭に位置づけられた“数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して”学ぶ姿の例として、“学びを生かす学び”をデザインし、具現化することで、深い学びが実現すると考えます。

1 これまでの“学び方”を価値づけ、生かすことを大切にしています

巻頭「学びのとびら」では、主体的、対話的で深い学びの一例として、右図の学習イメージを具現化するとともに、各学習過程における大切な視点の例、思考力・表現力の育成に深く関わるノートづくりの例を取り扱い、今後の学習に生かせるようにしました。

授業開きとして、数学的活動を通して学習規律を含めてふり返り、以後の学びにそれらを生かすことができます(2~5)。



2 各単元の導入で、既習をふり返り生かすことで、単元の学習課題をつくり出すことができます

各単元の導入では、日常の場面や既習を取り上げ、対話により単元の学習課題をつくり、主体的な学びのきっかけとするためのページ「単元プロローグ」を設定しました。

単元プロローグを活用し既習をふり返り生かすことを通して、新たな課題をつくり出す力を育成することができます(34, 54, 104 など、各単元の導入)。

3 既習の内容や数学的な見方・考え方を、新たな内容の熟達に生かすことを重視しています

例えば「角柱と円柱の体積」では、第5学年でも学習したL字型の体積の求め方をあらためて取り上げました。

柱体の体積の学習を通して、形の特徴に注目し、統合的に図形を捉える見方・考え方をさらに成長させることができます。

第5学年では、L字型の形を、直方体が組み合わさった形と捉えて体積を求めた。
→既習の図形の見方や体積の求め方をふり返ると同時に、L字型の形の特徴に注目し、柱体として統合的に捉え直す。このことにより、図形の見方が成長するとともに、体積の求め方の深い理解や熟達につながる。

4 右の図のような立体の体積の求め方を考えよう。

角柱の体積の公式を使えないかな。

角柱の底面は、上下に向かい合った合同な面だから…

底面積×高さの式が使えないか考えよう。

1 底面積×高さの式にあてはめるには、どの面を底面とみるとよいでしょうか。

2 底面積×高さの式にあてはめて、体積を求めてみましょう。

3 ②で求めた体積は、5年のときに学習した方法で求めた体積と等しいですか。

5年のときは、2つのに分けた。

まとめ 図のような立体の体積も、角柱とみれば、底面積×高さの式で求めることができる。

どの面を底面とみるか考えたね。

(p.125)

4 単元の学習後にも、学びを生かす力を育てる場を用意しています

新教育課程では、数学的活動を規定するなかで、現実の世界、算数・数学の世界という2つの場における学習過程が強調されています。そこで、原則として全単元の学習後に

単元末：学びを現実の世界で生かす「いかしてみよう」

巻末：学びを算数の世界で生かす「おもしろもんだいにチャレンジ」

のいずれかを設定しました。

学びを生かす経験の積み重ねが、生きて働く知識や技能の熟達や、学びを生かす力の育成につながります。また、活用、発展教材の開発の一助としても使用することができます。

5 プログラミング的に思考する場を用意しています

数の並べかえを題材に、プログラミング的に思考する経験をするページ「プログラミングを体験しよう！」を新設しました(242~243)。また、プログラミングによって代表値を求めるツールを、無料のデジタルコンテンツとして用意しました。

特色

3 これからも、どんどん学び続けたいくなる


新学習指導要領の教科目標には、学習をふり返ってよりよく問題解決しようとする態度を養うことが位置づけられています。この目標の実現のためには、問題解決後に学びを価値づけ、新たな課題を見だし追究しようとする態度の育成が欠かせないと考えます。

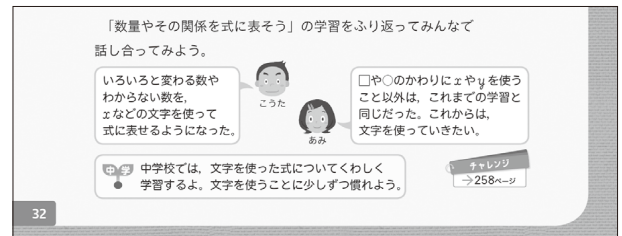
1 各時の終わりに、学習を価値づけ、新たな学びをつくり出す児童の姿を例示しています

各時の終わりには、前学年までと同様に「学習のふり返り」として、

- ・学習を価値づける児童の姿
- ・次の学びをつくり出そうとする児童の姿

を例示しました。学習をふり返り、次の学びをつくり出そうとする態度や、その際に働かせる数学的な見方・考え方を育成するとともに、評価の手がかりとすることもできます。

なお、各単元末「つないでいこう 算数の目」の脚注においても、対話により単元全体の学習をふり返り、価値づけたり、次の学習を創出したりする姿を例示しました。また、中学校の学習内容と関連の深い単元については、を付して、今の学びがこの先の学びにつながり、学びが続くことをイメージできるようにしました。



(p.32 脚注)

2 問題解決の方法をふり返り、新たな課題を生み出し追究するサイクルを可視化しています

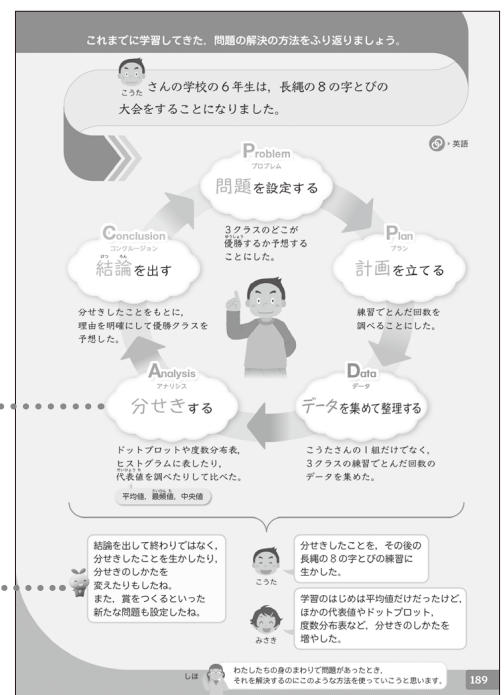
第12単元「データの調べ方」は、単元を通して
「問題を設定する → 計画を立てる → データを集めて整理する
→ データを分析する → 結論を出す → 結論や分析方法を見直す
→ 新たな問題を設定する → …」

といった統計的な問題解決の方法(いわゆるPPDACサイクル)を特に重視して設計しています。

学習の最後に、このような問題解決の方法を俯瞰して捉え、1つ結論が出たらそこで終わりではなく、よりよい結論や方法について考え、追究し続けることの大切さを強調しました。

単元の具体的場面に即しながら、問題解決の方法を視覚的に表現した図を活用し俯瞰して捉えます。

また、このサイクルを1度回したら終わりではなく、結論の妥当性や方法について批判的な視点も含めて考察し、追究を続けることを価値づけています。



(p.189)

観点別特色の一覧

<p>教育基本法の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学的な判断に基づき他者の考えを解釈，検討することを重視しました。これにより，自他の価値を尊重してその能力を伸ばし，創造性を培えるようにしました。(全体)
<p>学習指導要領の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校学習指導要領(総則編)の基本方針である授業改善の推進を受けて，資質・能力の育成のための優れた研究や実践の成果をもとに紙面を編集しました。(全体) ● 小学校学習指導要領(算数編)に示された目標に則り，数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通じた学習展開を重視しました。(全体)
<p>学びの 系統性・連続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 目次では，数学的な見方・考え方の関連も加味しながら，当該学年の学習内容の前後に位置づく学習内容を明示して学びの系統性や連続性を意識できるようにし，算数の学習における学びの地図として位置づけました。 ● 単元末「つないでいこう 算数の目」では，既習の学習も含めて数学的な見方・考え方を焦点化して取り上げ，以後の学習でも働かせようとする態度を養えるようにしました。(23, 52, 118, 162 など各単元末)
<p>組織・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学校数学の学習を見据え，同一領域の内容を適度に隣接させ，関連づけながら取り扱うことができるように，単元の配列を工夫しました。(全体) ● 練習問題は，本時の学習内容を適用して理解の確認や技能の熟達を確実にできるように，内容と時間を考慮して適切な分量を扱うようにしました。また，本文の練習問題とリンクした巻末教材「ほじゅうのもんだい」を設定しました。このことにより，知識・技能の熟達度合いの維持，向上はもとより，個に応じたつまずきへの対応をはかることができます。(全体)
<p>知識や技能の 熟達への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各時の展開において，数学的な見方・考え方を働かせて既習と当該の学習をつなぐことを強調し，知識や技能の断片的な詰め込みではなく，発達段階に配慮しつつ体系化しながら獲得することを重視しました。(11まとめ, 181まとめなど) ● 復習ページ「おぼえているかな？」を適宜設定しました。各種学力調査の分析結果をもとに問題を厳選し，熟達度合いを維持，向上させることができるようにしました。また，次単元のレディネスとなる問題には(じゅんび)を付し，つまずきへの事前対応に活用できるようにしました。家庭学習でも活用できます。(33, 53, 75, 89, 119, 133, 163) ● ICT活用の一環として，熟達に一定程度の練習が必要な小数，整数，分数の混じった乗除計算の熟達のためのデジタルコンテンツを用意し，該当の紙面には(5)を配しました。デジタルならではの即時的な正誤判定機能を有し，児童が楽しく飽きずに練習できるようにしました。(65)
<p>思考力・判断力・表現力の 育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 思考し，表現する学習活動を適切に取り入れました。特に，思考を図や式に表す，読み取る，問題を解決した後さらに発展的に，ときに批判的に考えようとする，といった学習活動を重視しました。(2~3, 111~113, 134~135, 147~149, 174~175, 177~179 など) ● ICT活用への取り組みの一環として，問題解決の際に活用できるデジタルコンテンツを用意しました。思考活動の時間を長く確保し，自由度高く思考することができます。当該の紙面には(5)を配しました。(10, 14, 108, 180, 184 など) ● 思考を表現する場としてノートづくりを重視し，巻頭「学びのとびら」ではノートづくりの基本的な事項を，単元内の「今日の深い学び」では，ノートを活用して本時で働かせた数学的な見方・考え方を主眼に思考を省察することを例示しました。(4~5, 66~67, 114~115, 150~151)
<p>学び続けようとする態度の 育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各時の終わりには，「学習のふり返し」として，学びを価値づけたり，次の学びを見いだそうとしたりする児童の姿を例示しました。(全体) ● 「算数マイノートを学習に生かそう」では，学びを省察し，次の学びを見通しをもって創出する学習感想例を掲載しました。(67, 115, 151)
<p>学習方法，展開の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 巻頭「学びのとびら」および「今日の深い学び」では，数学的活動をベースに自立的，協働的な学びをいっそう具現化しました。算数の学び方，および授業づくりの参考にさせていただきます。(2~3, 63~65, 111~113, 147~149) ● 毎時の学習において，焦点化された課題(🍷)とまとめ(🍷)を位置づけ，課題と到達点を明確につかめるようにしました。(全体)

短時間学習への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●短時間学習による弾力的な時間割編成に配慮し、単元末「たしかめよう」側注に15分間ずつ分割して使用する区切りの目安を、🕒を付して示しました。
小・中の 接続への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●算数の学習の総しあげを意図した「算数の学習をしあげよう」を新設し、知識や技能とともに、数学的な見方・考え方の成長をふり返ることができるようにしました。(198～227) ●各単元末「つないでいこう 算数の目」脚注、および「算数卒業旅行」では中学校の学習内容にふれ、算数の学習の延長線上に中学校の学習があることを認識し、自信と安心感をもてるようにしました(23, 32, 103, 162, 229～231など)
教科横断的な 教育課題への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●問題解決の方法や数の読み方について、英語での言い方や書き方を紹介した箇所には🕒を付して、内容の関連を意識できるようにしました。(189, 234) ●陸上競技の世界記録や情報化社会をテーマに、読解力や情報を活用する力の育成をねらいとして、統計資料等を読解し、判断するページ「算数で読みどころ」を新設しました。(90～91, 196～197) ●属人的な判断ではなく、論理に基づいて判断することを積み重ねることで、自他の価値を尊重する態度を養うなど道徳教育との関連に配慮しました。(全体)
教育のICT化に伴う 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●思考力伸長、知識・技能の熟達、効果・効率の向上、統計学習の充実、プログラミングの体験をテーマとし、多様な端末で使用可能なデジタルコンテンツを用意しました。(10, 14, 65, 96, 111, 180, 184, 243など) ●制度化された学習者用デジタル教科書を発行予定です。ビューアによる色反転や自動読み上げ、総ルビなどの機能を使用することで、特別支援教育にも効果的です。 ●指導者用デジタル教科書(教材)、学習者用デジタル教材も発行予定です。
特別支援教育、 ユニバーサルデザインへの 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●色数を減らして落ち着きを出し、余白を生かしたレイアウトとしました。(全体) ●新開発の「UD教科書体」を採用し、文字の視認性を格段に向上させました。(全体) ●堅牢かつ軽量の紙を使用し、重量による身体的な負担の軽減に努めました。(全体) ●拡大教科書を、文字のポイント別に複数種類発行予定です。

2. 対照表

配当時数計：154(予備時数：21)

配当月	配当時数	単元名	学習指導要領・内容名	該当箇所
4	1	●学びのとびら	第5学年の内容	2～7
	12	①つり合いのとれた図形を調べよう	B(1)ア(イ)イ(ア)	8～23
5	5	②数量やその関係を式に表そう	A(2)ア(ア)イ(ア)	24～32
	13	③分数のかけ算を考えよう	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)イ(ア)(2)ア(ア)イ(ア) 内容の取扱い(1)(2)	34～52
6	7	④分数のわり算を考えよう	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)イ(ア)(2)ア(ア)イ(ア) 内容の取扱い(1)(2)	54～69
	3	●分数の倍	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)イ(ア)(2)ア(ア)イ(ア) 内容の取扱い(1)(2)	70～73
7	2	●どんな計算になるのかな？	A(1)(2)内容の取扱い(2)	74
	8	⑤割合の表し方を調べよう	A(2)ア(ア)イ(ア)C(2)ア(ア)イ(ア)	76～88
9	2	●算数で読みどころ	D(1)内容の取扱い(2)	90～91
	8	⑥形が同じで大きさがちがう図形を調べよう	B(1)ア(ア)イ(ア)	92～103
10	6	⑦円の面積の求め方を考えよう	B(3)ア(ア)イ(ア)内容の取扱い(3)	104～118
	5	⑧角柱と円柱の体積の求め方を考えよう	B(4)ア(ア)イ(ア)	120～127
11	4	⑨およその面積と体積を求めよう	B(2)ア(ア)イ(ア)	128～132
	2	●考える力をのばそう	A(2)C(2)	134～135
12	15	⑩比例の関係をくわしく調べよう	A(2)ア(ア)イ(ア)C(1)ア(ア)(イ)(ウ)イ(ア)	136～162
	6	⑪順序よく整理して調べよう	D(2)ア(ア)イ(ア)	164～173
1,2	2	●考える力をのばそう	A(2)C(1)	174～175
	13	⑫データの特ちょうを調べて判断しよう	D(1)ア(ア)(イ)(ウ)イ(ア)	176～195
3	2	●算数で読みどころ	D(1)	196～197
	25	⑬算数の学習をしあげよう	A～D	198～227
3	13	●算数卒業旅行	A～D	228～240

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-131	小学校	算数科	算数	6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・601	新しい算数 6 数学へジャンプ!		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
191	いろいろなグラフ	1	中学校数学第2学年2内容C関数(1) ア(ア)「一次関数について理解すること。」 イ(ア)「一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。」	1
192	全体の様子と一部の様子	1	中学校数学第3学年2内容Dデータの活用(1) ア(ア)「標本調査の必要性和意味を理解すること。」 イ(イ)「簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断すること。」	1
229~230	0より小さい数	1	中学校数学第1学年2内容A数と式(1) ア(ア)「正の数と負の数の必要性を意味を理解すること。」 ア(イ)「正の数と負の数の四則計算をすること。」 イ(ア)「算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現すること。」	2
231	図形の性質の利用	1	中学校数学第1学年2内容B図形(1) ア(ア)「角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解すること。」 イ(ア)「図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現すること。」	1
260	分数のわり算を考えよう 問題1	2	小学校算数第6学年2内容A数と計算(1) ア(イ)「分数の乗法及び除法の計算ができること。」 イ(ア)「数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算の仕方を多面的に捉え考えること。」	0.75
262	形が同じで大きさがちがう 図形を調べよう 問題2	1	中学校数学第3学年2内容B図形(1) ア(イ)「基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解すること。」 イ(ア)「三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。」	0.75
264	比例の関係をくわしく 調べよう	1	中学校数学第2学年2内容C関数(1) ア(ア)「一次関数について理解すること。」 イ(ア)「一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。」	1

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容